NAP 染色	208000
	担当部署
NAP	血液

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		染色顆粒の鮮明さ、大きさは固定条件に影響されるので、固定温度、時間は厳密に行う。
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なタイミング	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 紫	EDTA-2K	2	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1）採取容器違いの検体 2）凝固検体 3）採血量不足の検体 4）サンプリングできない検体
保管検体の保存期間	室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部					
測定時間	1～3 日					
生物学的基準範囲	NAPscore： 陽性率 rate　60～100%、陽性指数 score　170～370 EX 共通 CL1084：「三輪血液病学　2006」					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	アルカリホスファターゼ染色は成熟好中球およびごく一部のリンパ球に陽性となるが、好中球アルカリホスファターゼ活性(NAP score)が臨床的に有用である。NAP score は細菌性感染症、骨髄線維症などによる類白血病では高値を示すが慢性骨髄性白血病では低値を示すため鑑別に有用である。また慢性骨髄性白血病が急性転化を起こすと上昇することが多い。その他、発作性夜間血色素尿症で低値を示し、AML や MDS の一部でも低値となるものがみられる。また真性多血症では大部分の症例で高値となる。 EX 共通 CL1084：「三輪血液病学　2006」546					